

令和元年度入学生2年次開講

シラバス

共通科目

令和元年度開講授業科目一覧表

共通科目

こ と ば と 人 間	武 内 康 則	6P
美 術 を み る 目	安 井 良 尚	8P
音 楽 と は 何 か	柚 木 たまみ	10P
近 江 学 入 門	秋 山 元 秀	12P
テ レ ビ 映 像 と 現 代 社 会	三 上 正 弘	14P
教 育 を 考 え る	笹 倉 千佳弘	16P
心 理 学	林 幸 範	18P
心 と 身 体 の ヘ ル ス ケ ア	神 村 有 紀	20P
生 活 文 化 論	森 治 子	22P
子 ど も 社 会	笹 倉 千佳弘	24P
現 代 社 会 と 福 祉	松 木 宏 史	26P
現 代 の 健 康	堀 池 喜八郎	28P
数 の 不 思 議	久 米 央 也	30P
デ ー タ 分 析 入 門	小 山 内 幸 治	32P
英 語 I (製 菓 ・ 製 パ ン)	萩 澤 大 輝	34P
英 語 II (製 菓 ・ 製 パ ン)	萩 澤 大 輝	36P
フ ラ ン ス 語 I (製 菓 ・ 製 パ ン)	柴 田 秀 樹	38P
フ ラ ン ス 語 II (製 菓 ・ 製 パ ン)	柴 田 秀 樹	40P
中 国 語 I (製 菓 ・ 製 パ ン)	李 景 芳	42P
中 国 語 II (製 菓 ・ 製 パ ン)	李 景 芳	44P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (製 菓 ・ 製 パ ン)	山 村 聡	46P
健 康 ス ポ ー ツ 論 (幼 教)	山 下 伸 一	48P
ス ポ ー ツ 実 技 (テ ニ ス)	山 中 博 史	50P
ス ポ ー ツ 実 技 (フ ィ ッ ト ネ ス)	北 尾 岳 夫	52P
ス ポ ー ツ 実 技 (バ レ ー)	山 村 聡	54P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (食 健 康)	清 水 まゆみ 他	56P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (製 菓 ・ 製 パ ン)	清 水 まゆみ 他	58P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (幼 教)	柚 木 たまみ 他	60P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (ビ ジ 前 半)	江 見 和 明 他	62P
キ ャ リ ア デ ザ イン 演 習 (ビ ジ 後 半)	江 見 和 明 他	64P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
ことばと人間	武内 康則(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Human and Language							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ことばに関する基礎的知識の学習を通じて、「ことば」と「人間」と「社会」との関係について理解する。							
授業の内容 私たちは「ことば」というものを普段何気なく使っているが、そこには大変面白い現象・事実がたくさん観察される。国語や英語の時間に習った「文法」とは一味違う、ことばの世界の奥深さを学んでみよう。 毎回の授業後、テーマに関連したコメントシートを提出する。							
教科書	なし						
参考書	授業中に紹介する						
担当者からのメッセージ	日ごろからことばというものに親しみを持ってください。 配付したプリントはすべてファイルにとじて、レポート執筆に備えてください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回提出してもらったコメントシートからピックアップしたものを、翌週の授業で紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業後に提出するコメントシート				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	授業内容からテーマをひとつ選び、レポートを作成する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	イントロダクション：ことばとは何か？	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
2 /	言語と方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
3 /	ことばと性差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
4 /	ことばと年齢差	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
5 /	地域方言	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
6 /	ことばの機能	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
7 /	ことばの変化	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
8 /	ことばと場面・状況	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
9 /	ことばと文化・世界観	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
10 /	比喩表現・ことわざ・慣用句	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
11 /	日本語と世界の言語1	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
12 /	日本語と世界の言語2	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
13 /	消滅の危機に瀕したことば	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
14 /	レポート作成について	武内	講義	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
15 /	まとめ・レポート提出	武内	レポートの推敲	講義内容についてコメントシートをまとめる	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
美術をみる目	安井 良尚(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	
							実務経験
							○
Appreciation of Arts							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・造形表現活動を考察することにより美術という作品を見る手がかりを習得する。 ・美術鑑賞に欠かせない、主題、形式、材質、技法、様式などの観点を理解できる。							
授業の内容 版画作品を中心に発表し、作家活動を行っている教員が担当する。 この授業では、写真や映像をもとに古今東西の美術作品を鑑賞し、美術を見るための観点を学びながら、簡単なワークの中で、美とはなんであるかを考察する。 さらに、授業期間中に自ら展覧会に行く機会を持ち、作品と対話し鑑賞した内容をレポートにまとめる。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	各自が行う美術館での作品の鑑賞レポート、毎回の授業の美術研究ノートの作成だけでなく、授業中のワークへの積極的関与も重要です。 未知なるもの、知らなかったことを学ぶことは楽しいことです。積極的に自分の世界を広げましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業ノート、美展覧会レポートを評価し返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業態度と提出物について評価する				
	授業内試験	10	授業最終日の小テストにおいて授業の理解度を評価する				
	定期試験						
	レポート	10	レポートにおける着眼点と独自性を評価する				
	その他	50	授業内で配付するプリントでつくる研究ノートの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	yoyasui.23@gmail.com (安井)						
教員相互授業参観	9、10回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	「イントロダクション」授業概要、美術研究 ノートの使い方について	安井	講義	美術について、今までに習ったことや知っていることを整理する	90
2 /	「遠近法について」立方体を描いてみる	安井	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	「遠近法から逃れる」ピカソとキュビズム	安井	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	「印象派の表現」光を表現する	安井	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	「浮世絵版画」浮世絵と版画	安井	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	「マティスの切り絵」地と図の関係	安井	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	「シュールな世界」想像の世界	安井	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	「抽象絵画とは」カンディンスキーとモンド リアン	安井	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	「絵の具のもつ力」ポロックの時間	安井	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	「デュシャンの<泉>」考え方を学ぶ	安井	講義	講義内容をまとめる	90
11 /	「<もの>を通して観る」ストーリーを考える	安井	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	「ポップアート」日常と美術	安井	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	「日本の美術」琳派から現代	安井	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	「現代美術の視点」	安井	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	「授業を振り返って」小テスト、美術研究 ノートの提出	安井	講義、小テスト	ノートを完成させる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽とは何か	柚木たまみ(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Consideration to Music							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・音楽とは何かについて考え、音楽と人間とのつながりを知る。 ・音楽のルーツと歴史について知り、様々な音楽のジャンルに触れる。 ・音楽の持つ「力」を学ぶ。							
授業の内容 この授業は、教員の長年にわたる演奏家としてのキャリア、また音楽療法士としての臨床経験を反映させた講義内容である。 音楽とは何であるか。それは、人間にとってなくてはならないものである。 授業では、毎回異なったテーマで音楽について知り、考えていく。目には見えない音楽というものを、実際に私たちはどのように感じているのかを改めて意識してほしい。 レポートを通して、質問や感想等を伝えてもらい、また、学生相互の意見交換もしていく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	音楽経験の有無は問いません。 自分の音楽に対する知識と考えを、毎回の授業参加時のレポート等で反映してください。 そして、さらに新しい音楽についての視点を見つけてください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回提出してもらう小レポートの内容について、受講生全体で共有できるように授業内で質問等への回答を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	45	毎回授業の最後に小レポートを書く				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	45	授業最終回到提示テーマによるレポートを作成する				
	その他	10	プレゼンテーションの機会に積極的な参加を評価する				
	自由記載						
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp (柚木)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション(授業構成と取り組み方) 「音楽とは何か」(1) 自分にとっての音楽とは、生活の中の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	30
2 /	「音楽とは何か」(2) 音楽の定義と特性、様々な捉え方	柚木	講義	講義ノート作成	45
3 /	「音楽のルーツ」	柚木	講義	講義ノート作成	45
4 /	「時代と音楽」(1) 古代、中世の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
5 /	「時代と音楽」(2) バロック、古典派の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
6 /	「時代と音楽」(3) ロマン派、そして近現代の音楽	柚木	講義	講義ノート作成	45
7 /	「声楽と器楽」	柚木	講義	講義ノート作成	45
8 /	「音楽と舞踊」	柚木	講義	講義ノート作成	45
9 /	「音楽と劇場」	柚木	講義	講義ノート作成	45
10 /	「西洋と日本」	柚木	講義	講義ノート作成	45
11 /	「世界の様々な音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーションについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備	60
12 /	「ポピュラー音楽」	柚木	講義 学生によるプレゼンテーション レポートのテーマについて告知	講義ノート作成 プレゼンテーション準備 レポート準備	120
13 /	「音楽療法」(1) 音楽療法とは その定義について	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
14 /	「音楽療法」(2) 音楽療法の様々な在り方	柚木	講義	講義ノート作成 レポート準備	90
15 /	まとめ	柚木	講義 レポート作成についての助言	講義レポート作成 レポート準備、作成	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
近江学入門	秋山 元秀(専 任)	2年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Introduction to the Study of Oumi (The Old Name of Shiga)							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・近江という土地がどのようにして生まれ、どのようにして現在の滋賀県になったかを理解し、滋賀県のことに関心をもつことができるようになる。 ・近江ではぐくまれた多様な地域文化を知り、近江独特の地域性がどのようにして作られたかを理解し、身近な地域がその中でどのような位置を占めるか説明できるようになる。							
授業の内容 近江というのが古代日本に生まれた国の一つであることから始めて、その国がどのような性格の地域であったかを述べる。そしてその中でどのような産業が発達し、どのような文化が生まれたのか、それらが現在にどのように引き継がれて滋賀県になったのかを明らかにする。授業ではできるだけ映像や地図を使い、滋賀県のことをあまり知らない人でもわかりやすいように心がける。積極的に授業に参加してもらうためにアクティブ・ラーニングの手法を取り入れる。							
教科書	なし						
参考書	個々のテーマについては授業中指示するが、全体的なものとしては以下のものを推薦する 『街道をゆく』司馬遼太郎シリーズの「1湖西のみち」「24近江散歩」(朝日文庫) 価格(本体600円～800円) 『近江山河抄』白洲正子(講談社文芸文庫) 価格(本体1100円)						
担当者からのメッセージ	毎回出席して授業に積極的に参加することが評価のポイントとして重要である。毎回の授業に際しては、授業内容や関連するテーマについてミニレポートを書かせる。それにまじめに取り組むことが大切である。またテーマをめぐってディスカッションやグループ学習をしてもらうが、この場合も積極的な発言をポイントとする。テーマに応じて実際に現地に出かけてフィールドワークを行なうためのガイダンスを行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	ミニレポートに寄せられた質問や意見は次の時間に紹介する。長文のレポートは添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業に対する積極的な態度を発言や討論の様子から評価する				
	授業内試験	40	授業中のミニテストへの取り組みを評価する				
	定期試験	30	総合的な問題の理解度をチェックする				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	学長室 月曜日 13時～15時 事前にメールで要件と希望時間帯を知らせること						
担当教員E-mail	m-akiyama@sumire.ac.jp (秋山)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オウミ(近江・淡海) とはどんな意味?シガ(滋賀・志賀) とは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
2 /	近江の歴史を知ろう。隣の京都や福井の歴史とも関連しているだろうか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
3 /	近江の特徴はどこなところだろうか?それを考えるための材料は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
4 /	近江の文化というと何がある?たとえば芸能・お祭りなど	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
5 /	近江の産業というと何がある?たとえばお米・魚など	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
6 /	「ふなずし」 食べたことがありますか? 「ふなずし」 ってどんな寿司?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
7 /	近江というと何をイメージする?なんでもあげてみて?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
8 /	近江商人って何?聞いたことがありますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+グループ学習	授業で何が理解できたか振り返ること	90
9 /	滋賀県にはどんな町がある?知っている町をあげてみて	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
10 /	まず大津 大津はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+フィールドワークの案内	授業で何が理解できたか振り返ること	90
11 /	ひこにゃんは知ってますか?ひこにゃんのいる町彦根はどんな町?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
12 /	大津・彦根以外に知っている町は?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
13 /	滋賀県で観光で有名なところは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+プレゼンテーション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
14 /	滋賀県を案内するとしたらどこを推薦しますか?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート	授業で何が理解できたか振り返ること	90
15 /	みんなの滋賀県おすすめは?	秋山	講義と質疑応答+ミニレポート+ディスカッション	授業で何が理解できたか振り返ること	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
テレビ映像と現代社会	三上 正弘(非常勤)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
TV picture in modern society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・わが国が国民に対する情報伝達サービスを今後どのように計画しているのかを理解できる。 ・過去65年間のテレビ映像が、国内外の歴史にどのような影響を及ぼしてきたかを評価できる。 ・ニュースの重要性と「正確な情報」の大切さを実例と共に認識できる。 ・ニュース・スポーツ・情報番組などの映像コンテンツを視聴し、それらがどのようにして制作されているかを理解できる。 ・テレビからインターネットへと変化する中で、人を傷つけないための表現方法などについて説明できる。 ・取材をすること・映像企画を考えることの素晴らしさと難しさを体験できる。 							
授業の内容 <p>朝日放送株式会社に40年間勤務した。その間、報道・情報・パリ支局・スポーツ・ドキュメンタリー番組現場での企画・制作・取材に携わった経験を活かして、テレビ映像が果たしてきた歴史的・社会的役割について解説し、考える。</p> <p>授業ではまずテレビとインターネット双方を国民への情報伝達という視点で総合的に計画している国の考え方を判りやすく解説する。そのうえで、授業計画に従って、テレビ映像が国内外の政治・経済・文化にどのような影響を与えたかを実際の映像を見ながら振り返る。</p> <p>そしてテレビニュース、スポーツコンテンツ、情報番組、ドキュメンタリーなどについて制作方法やインターネット社会での変化について個別に考える。</p> <p>また「企画を立て取材をする」ことの楽しさと難しさを少しでも体験してもらうため、実際に映像企画書を書いてもらう。</p> <p>数多くの映像作品を見ながら、社会の動きや物事の本質を掴む能力がつくように、判りやすい授業を目指す。</p>							
教科書	なし						
参考書	自作のレジユメを最初の授業で配付する						
担当者からのメッセージ	この授業を受けることで自然に世の中の動きに関心が高まることを期待している。テレビ・ネット・新聞などのメディアを日常的にチェックして、世の中の動きに敏感であってほしい。受講態度については各自に任せる。ただし学習意欲のある学生の邪魔になるような態度には毅然とした対応を取り、減点の対象とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートなどは授業冒頭で返却する。 その際、採点の基準などを説明し、より理解を深めたい。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	他の生徒に迷惑をかけるような場合は減点の対象とする				
	授業内試験	60	授業内で2回、まとめの試験を行う(30点×2回、中盤と後半)				
	定期試験						
	レポート	30	前半と中盤にそれぞれ簡単なレポートと「企画書」を提出してもらう				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける(気楽に質問してほしい) メールでも受け付ける その際は次の授業冒頭で説明する						
担当教員E-mail	neuilly626@outlook.jp(三上) neuilly.626.masa@ezweb.ne.jp(三上)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画				
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)
1 /	はじめに	三上	講義 自己紹介、15回の授業で皆さんに伝えたいことを説明する	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
2 /	未来のテレビ	三上	講義 「次世代テレビ」や「テレビのネット配信」など、テレビの今後について解説する	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
3 /	テレビ映像65年の歴史 I	三上	講義 日本社会とテレビ映像の関わりについて映像を見ながら振り返る	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
4 /	テレビ映像65年の歴史 II	三上	講義 戦後の世界とテレビ映像の関わりについて映像を見ながら振り返る	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
5 /	テレビニュース	三上	講義 テレビからネットへとニュースの変化について検証する	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
6 /	スポーツコンテンツ	三上	講義 ネット社会でのスポーツコンテンツについて考える	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
7 /	情報番組	三上	講義 報道番組と情報番組の違いや、情報番組の制作過程について学ぶ	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
8 /	ドキュメンタリー	三上	講義 ネット社会でのドキュメンタリー作品について考える	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
9 /	ニュース映像の基礎知識	三上	講義 動画撮影・編集・照明の基礎知識や心構えなどを判りやすく解説する	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
10 /	メディアの視点 I 「日常の中の非日常」	三上	講義 日本の素晴らしさは我々の日常の中に潜んでいることを授業で再認識する	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
11 /	映像コンテンツ実例研究	三上	講義 取材前の立案から放送まで、幾つかの映像作品を検証し、企画立案の参考にする	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
12 /	人を傷つけないための表現	三上	講義 人権を守り 人を傷つけないために、テレビが築き上げた仕組みを研究する	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
13 /	テレビとネット：利点と問題点 メディアの視点 II 「地球温暖化・SDGsについて」	三上	講義 ネット社会での無数の情報をどのように峻別し受け入れればよいのかを考える	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
14 /	これまでの授業のまとめと課題	三上	講義 これまでのポイントを振り返り、皆に短くレポートしてもらおう	1週間のニュースチェック、講義の予習と復習 180
15 /	ドキュメンタリー鑑賞	三上	講義 ドキュメンタリー作品を鑑賞し皆でディスカッションする	1週間のニュースチェック、講義の復習 180
/				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育を考える	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
On Education							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・日本の教育状況に関する基本的な事項を理解する。 ・日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 日本の教育状況に関する基本的な事柄を、文部科学省の意図に沿って説明する。そのうえで、教育現実に根差した批判的な議論をとおして、日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得できるよう講義する。なお教科書は授業内で販売する。							
教科書	『わかちあい』の共育学 基礎編 齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美 (明石書店) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	『育つ・育てる・育ちあうー子どもとおとなの関係を問直すー』 井上寿美・笹倉千佳弘、明石書店(本体1,800円+税)						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp (笹倉)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見直しを たてる	90
2 /	教職の意義及び教員の役割・職務内容（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	教職の意義及び教員の役割・職務内容（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	道徳の理論と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	道徳の理論と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	「総合的な学習の時間」の意義と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	「総合的な学習の時間」の意義と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	特別活動の意義と指導法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	特別活動の意義と指導法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	生徒指導の理論と方法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	生徒指導の理論と方法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	幼児理解の理論と方法（基本的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	幼児理解の理論と方法（発展的事項）	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
心 理 学	林 幸範(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Psychology							
資格等取得との関連	准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・心理学についての基本的な知識や考え方を理解することができる。 ・それらの知識や考え方を基に「こころ」について自分なりの考え方ができる。							
授業の内容 心理学とは、「こころの諸現象を心理学的方法で研究する科学である」といえ、学問の一領域である。そこで、本講義では、「こころとは何か」をメインテーマとして、「こころ」における基本的な理論や概念を15のサブテーマを設定して、心理学を基礎に考えていく。その際にできる限り今日的な問題についても考えていく。 なお、本講義では、「テーマシート」を利用したアクティブ・ラーニングの授業を実施する。							
教科書	なし						
参考書	適宜、授業内で紹介						
担当者からのメッセージ	本授業は、アクティブ・ラーニングの手法で実施するので、学生の積極的な参加を重視する。授業の詳細は、第1回目に説明をする。なお、教科書は使用しないが、毎回「資料ノート」を配付する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却する。第15回の「テーマシート」は、定期試験時に返却予定。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験	60	理解度確認のためのテストで、論述式で実施				
	レポート						
	その他	40	毎回実施する「テーマシート」の評価				
自由記載							
オフィスアワー	林研究室 月～水曜日 12時10分～13時 木曜日 12時40分～13時20分 事前に連絡ください						
担当教員E-mail	y-hayashi@sumire.ac.jp (林) yhayashi@tkb.att.ne.jp (林)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	こころ、あなたはどう思いますか？ －こころをどう考えるのか、哲学それとも科学：心理学小史－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる	60
2 /	こころ、どこにある？ －人間のこころの生物学的基礎：生理的心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
3 /	リンゴは、なぜ赤くて丸いのか？ －ものの見方・捉え方：感覚・知覚心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
4 /	物覚えが悪くてね！？ －おぼえる・思い出す：記憶心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
5 /	勉強、どう思う？ －行動が変わる：学習・行動心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
6 /	思考や知能は、遺伝するのか！？ －ものを考える：思考・言語・知能心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
7 /	あなたは、感情的、理性的？ －人が動く心理：感情・動機心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
8 /	発達とは、どんなこと？ －こころの発達：発達心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
9 /	この絵、何に見える？ －人間の発達：生涯発達心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
10 /	あなたの短所は？ 長所は？ －その人らしさ：性格・人格心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
11 /	こころのバランスは、なぜ崩れるのか？ －こころもカゼをひく：臨床心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
12 /	犯罪は、どうして起こるのか？ －逸脱の心理：臨床・犯罪心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
13 /	なぜ、授業中私語をしてしまうのか？ －人と人・個人と社会：社会・産業・災害心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
14 /	教育、どう思いますか？ －教育現場での心理：教育・障害者心理学－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
15 /	この実験をどう思う？ －心理学とは：心理学の方法論－	林	講義とグループ討議	講義内容をまとめる・テーマシートを確認する	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
心と身体のヘルスケア	神村 有紀(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Healthcare of Body and Mind							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「心と身体の健康」という観点から、主に心理学、リラクゼーションやストレス理論を用いて、自分自身の心身の状態を見直ことができる。 ・講義で習得したことを、実際の日常生活に応用し、自分自身の「心身の健康」について考察することができる。							
授業の内容 本講義では、主なストレス理論と心身の健康に有効なさまざまな対処法をとりあげ、講義する。一般的なストレス・マネジメント法を中心に、心身のセルフケアとして広く親しまれ、実践しやすいものを取り上げ、その背景にある人間観や健康観に留意しつつ学んでいく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	この科目は講義科目ですが、一方的に聞くだけで終わらせるのではなく、実際に、日常の生活の中で、自分自身に適切なセルフケアを実践することを目標としています。 受講態度の評価は、できる限り積極的に参加し、学ぼうとする姿勢で臨まれているかをポイントとし、ディスカッションや発表の際の取り組み方、及び毎回の小レポートの内容に基づいて判断します。また、授業内容とは無関係の私語や作業について、見受けられた場合は減点対象とするので、注意してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出されたレポートは、共通の見解、深く考察された内容、また誤解しやすい点等を取り上げ、次回の授業の中でコメントしていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	毎回授業内で提出を求めるショートレポートの内容を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	80	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	kmyuki-a@st.ritsumei.ac.jp（神村）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	はじめに 本講義の目的と「健康」の定義について考える	神村	講義	授業ノートを見直す	30
2 /	ストレスと健康1 ストレスの定義とストレス理論の基礎知識	神村	講義	授業ノートを見直す	30
3 /	ストレスと健康2 ストレス反応のメカニズムとコーピング	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
4 /	ストレスと健康3 心身相関と自律訓練法1	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
5 /	ストレスと健康4 心身相関と自律訓練法2	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
6 /	人間関係と健康1 交流分析理論でみつめる自己の人間関係	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
7 /	人間関係と健康2 アサーション・トレーニングと自己のコミュニ ケーションスタイル	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
8 /	心身の健康とボディワーク1 ヨーガの歴史と健康観	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
9 /	心身の健康とボディワーク2 ヨーガ実践の基礎知識とセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
10 /	東洋の健康文化と心身の健康 東洋医学的健康観とストレス	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
11 /	アロマセラピーと心身の健康1 ハーブ、アロマセラピーの基礎知識	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
12 /	アロマセラピーと心身の健康2 ハーブ、アロマセラピーと心身のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
13 /	アロマセラピーと心身の健康3 バッチフラワーレメディと感情のセルフケア	神村	講義と実習	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
14 /	「内なる子ども」と心身の健康	神村	講義	授業ノートを見直す 講義で学んだスキルを実際に 応用する	60
15 /	「健康」について再考する	神村	講義とレポート	授業ノートを見直す	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
生活文化論	森 治子(非常勤)	2年次	前期	2	講義	選択	実務経験
Cultural Studies of Living							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・ 講義で紹介する様々な生活文化を通して、日本文化の特徴や特質について理解を深め、他国の文化についても関心をもつことができるようになる。 ・ 社会と文化と人びとの暮らしとの関係性を理解し、ひとりひとりが自分自身のライフスタイルについて考えることができるようになる。 ・ 日本の文化やライフスタイルについて、自分の言葉で説明し、表現できる力を身につける。							
授業の内容 生活文化とは人が生活していくための技術や手段である。この授業では日本人が日常生活のなかでどのような行動や考え方をしてきたか、そのことが生活にどのように反映されてきたかということ、衣食住や遊びに関する事象から検討する。また、生活のなかで継承されてきた様々な技術や生活道具の歴史をひもとくことによって、文化の諸相をとらえ、考察する。							
教科書	なし						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	教科書は使用しないので、教材プリントや資料を配付する。 講義内容の理解を深めるために、昔の映画やドラマ、ドキュメンタリー作品等を鑑賞することがあるので、私語は慎むこと。 疑問に感じたことやわからないことがあれば、積極的に質問をしたり、自分から調べる習慣を身につけてほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時に提出する課題や感想文は、翌週の授業でまとめて講評し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業時に提出を求める感想文やコメントペーパー				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	60	授業内容の理解度と到達目標の達成度を総合的に評価する				
	その他	20	復習を兼ねた課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	mori916hrk@gmail.com（森）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生活文化を学ぶための方法について	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
2 /	衣生活に関する文化1 和装と洋装(1) 古代~近世	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
3 /	衣生活に関する文化2 和装と洋装(2) 明治・大正・昭和	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
4 /	衣生活に関する文化3 日本の色彩と化粧	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
5 /	住まいに関する生活文化1 日本の住まいとくらしのスタイル(1) 住まいの変遷	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
6 /	住まいに関する文化2 日本の住まいとくらしのスタイル(2) ライフスタイルと間取り	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
7 /	住まいに関する文化3 日本の住まいとくらしのスタイル(3) ライフステージと住まい	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
8 /	食に関する文化1 食の起源	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
9 /	食に関する文化2 和食と洋食	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
10 /	食に関する文化3 伝統行事と行事食	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
11 /	食に関する文化4 喫茶と菓子の文化	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
12 /	食に関する文化5 環境問題と食生活	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
13 /	四季の行事と遊びの文化1 春から夏の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
14 /	四季の行事と遊びの文化2 秋から冬の行事と祭り	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
15 /	まとめ	森	講義	講義内容の復習と授業で紹介した資料に目を通すこと	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
子ども社会	笹倉千佳弘(専 任)	2年次	前期	2	講義	選択	○
							実務経験
Child Society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・日本の教育状況に関する基本的な事項を理解する。 ・日本の教育状況を相対化・対象化するための視点を獲得する。 ・レポート作成をとおして論理的な文章が書けるようになる。							
授業の内容 子ども社会を理解するうえで必要となる基礎的事項を学ぶ。そのうえで、子どもとおとなの関係という視点から、子ども社会の意味世界にふれることができるように講義する。なお教科書は授業内で販売する。							
教科書	『育つ・育てる・育ちあうー子どもとおとなの関係を問い直すー』 井上寿美・笹倉千佳弘（明石書店） 価格（本体1,800円＋税）						
参考書	『くわちあい』の共育学 基礎編、齋藤尚志・笹倉千佳弘・井上寿美（明石書店） 価格（本体2,000円＋税）						
担当者からのメッセージ	本授業では、教員の話聞くだけでなく、自ら「考える」ことを重視している。そのための手立てとしてアクティブ・ラーニングの手法を取り入れており、受講生の積極的な授業参加を受講態度の評価観点とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業時にミニテストを実施した際は、その問題を利用して授業内容の振り返りをおこなう。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	受講生が積極的に授業に参加しているかどうかを評価観点とする				
	授業内試験	30	基本的な事柄が理解できているかどうかを評価観点とする				
	定期試験						
	レポート	30	自分の言葉で論じることができているかどうかを評価観点とする				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	笹倉研究室 木曜日 12時40分～13時15分						
担当教員E-mail	c-sasakura@sumire.ac.jp（笹倉）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	開講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：シラバスを読んで こと 復習：本授業全体の見通しを たてる	90
2 /	子どもへのまなざし(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
3 /	子どもへのまなざし(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
4 /	子どもとおとなのかかわり(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
5 /	子どもとおとなのかかわり(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
6 /	子どもの育つ場(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
7 /	子どもの育つ場(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
8 /	中間のまとめ	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
9 /	子ども理解について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
10 /	子ども理解について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
11 /	自己肯定感について考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
12 /	自己肯定感について考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
13 /	仲のよさについて考える(基本的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
14 /	仲のよさについて考える(発展的事項)	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
15 /	閉講にあたって	笹倉	講義 アクティブ・ラーニング	予習：事前課題をおこなう 復習：授業を振り返る	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
現代社会と福祉	松木 宏史(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
							○
Social Welfare in Contemporary Society							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・社会福祉について「ひとつとではない問題」「ほっとけない問題」としてとらえられるようになる。 ・社会福祉に対する「古い常識」や「偏見」に対して、科学的・批判的にとらえられるようになる。 ・社会科学としての「社会福祉学」にふれることで、社会問題に対してこれまでと違ったものの見方・考え方ができるようになる。							
授業の内容 社会福祉施設での実務経験を持つ教員による講義である。 この授業の目指すところは「自己責任論の克服」である。また科目名は「現代社会と“福祉”」としているが、正しくは“社会福祉”である。15回の授業を通じて、様々な社会問題・生活問題を取り上げるが、過酷な実態の中で社会福祉がどのような役割を果たしているか、受講生とともに考えるような内容にしたい。実態に迫るため、ドキュメンタリー映像を多用する。 なお、この科目は社会福祉士・精神保健福祉士養成課程の「現代社会と福祉」ではない。科目互換制度を利用する他大学の学生は注意されたい。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	社会福祉のあり方について純粋に興味がある学生の受講を歓迎する。 また、論点をはっきりさせるために、ときに担当教員の考えや意見を明示する。しかし、これは考えや意見を押し付けるものではない。受講者自身が考えを深めるための材料として受け止め、時には批判してほしい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	ほぼ毎回何らかの提出課題を課すが、課題は担当教員が確認・検印のうえ返却する。返却された課題はなくさないように保管すること。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中に課す小レポートで算出する				
	授業内試験						
	定期試験	50	社会福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	松木研究室 木曜日 12時40分～13時10分（事前にメールで連絡すること）						
担当教員E-mail	h-matuki@sumire.ac.jp（松木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	「社会福祉」を考えるヒント	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
2 /	災害復興と社会福祉	松木	講義 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
3 /	児童養護施設を出て「自立する」とは	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
4 /	限界の家族介護—介護殺人、介護心中	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
5 /	放置される劣悪な施設—無届け介護ハウス	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
6 /	「障がい」とはなにか	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
7 /	重度障害者の声に耳を傾ける	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
8 /	「犯罪を犯した人」の人権	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
9 /	なくなる子どもの居場所	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
10 /	安心して病院にかかりたい	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
11 /	売春被害も自己責任？	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
12 /	社会問題と「感動ポルノ」	松木	講義 ドキュメンタリー視聴 振り返りシート記入	配付資料を読み返す	30
13 /	映画鑑賞(1)	松木	映画鑑賞 14回目と連続授業	14回目と連続授業	0
14 /	映画鑑賞(2)	松木	映画鑑賞 作品の背景に関する講義 振り返りシート記入	映画の解説を読み返す	60
15 /	授業のまとめ 「自己責任論」を克服するために	松木	講義 振り返りシート記入	定期試験に向けて復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
現代の健康	堀池喜八郎(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Introduction to Nutrition and Health Sciences							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・「生きている」ことの基本を理解する。 ・マスメディアにみられる「二セ科学」について理解する。 ・科学的思考方法の有効性と限界について知る。							
授業の内容 医療の経験を持つ教員が担当する。 健康に生きるための知識として、食事（栄養素）、摂取エネルギー、消費エネルギー、細胞の仕事、生体内のエネルギー通貨ATP、脳による代謝の統合について解説する。 さらに、健康や栄養に関連したマスメディアにみられる「二セ科学」について勉強する。 講義資料を配付する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	いろいろな授業科目（学問分野）は相互に関連しあって、つながっています。このことを念頭に置いて勉強してください。 受講時、ちょっとした疑問点など何でも気軽に質問してください。授業への積極的な参加を期待します。 授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については翌週に返却し、解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への積極的な参加（議論やコメント）を特に評価の対象とする				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	50	講義内容に関連した約10項目の用語から3項目ほどを選択して、レポートする（考察を重視する）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	堀池研究室 水曜日 9時～14時						
担当教員E-mail	k-horiike@sumire.ac.jp（堀池）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	生きるためには食べなければならない	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
2 /	栄養素を分類する	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
3 /	ビタミンとは何か	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
4 /	ビタミン様作用物質	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
5 /	ビタミン発見小史1：概観	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
6 /	ビタミン発見小史2：脚気	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
7 /	ビタミン発見小史3：日本人の活躍	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
8 /	ビタミン発見小史4：ナイアシン欠乏症（ペラグラ）	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
9 /	医学領域における自己人体実験	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
10 /	アミノ酸代謝の特徴：糖質や脂質の代謝とどこがちがうのか	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
11 /	必須アミノ酸とタンパク質の栄養価（アミノ酸スコア）	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
12 /	生きるために必要なエネルギーの量	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
13 /	生き物の細胞内エネルギー通貨ATP	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
14 /	エネルギー代謝の脳（視床下部）による調節と統合	堀池	講義とグループ討議 小課題を解く	授業内容をまとめる	180
15 /	マスメディアに見られるニセ科学：生（なま）のつく言葉、健康食品のウソ・ホント、科学の言葉で人をだます	堀池	講義とグループ討議	授業内容をまとめる	180
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
数の不思議	久米 央也(専 任)	2年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Wonder of Mathematics							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・数・量・図形に関する各国の古来からの問題やパズルを解く中で、数学の歴史を学び、数学的思考力を身につけることができる。 ・数・量・図形の美しさや不思議さに触れることで、数学に興味・関心を持って積極的に授業に参加できる。							
授業の内容 小学校教員の経験を持つ教員が担当する。 数・量・図形に関する古来からの各国の様々な問題やパズルを解説を加えながら一緒に考えていく。その中で、数学の歴史や、数の持つ美しさ、不思議さを実感していく。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	数学な苦手な人でも、大丈夫です。考えることが楽しいと感じることが大切です。数学的に考える力をつけることは、社会で出会う様々な問題を解決するのに役に立ちます。成績評価のうち「受講態度」については、毎回の授業での課題に積極的に取り組んでいたかを中心に評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題については授業中に取り上げ説明する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	積極的に授業に参加しているかを評価する				
	授業内試験	50	授業内容が理解できているかについて授業の復習テストを行う				
	定期試験						
	レポート	20	授業の終わりに課題を出し、授業の理解ができていないかを評価する				
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前予約が望ましい）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 論理力 (うそつき問題) 直観力 (マッチ棒問題) 数の不思議 (答えの予言の謎)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
2 /	論理力 (川渡り問題) 数の不思議 (電卓の謎・9999の謎) 数の誕生 数字の進化	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
3 /	直観力 (マッチ棒問題・コイン問題) ガウスの定理 123123の謎 0の発見 (十進位取り記数法の誕生)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
4 /	17列目の謎を解く 数列の不思議 (ピザを切ったら) フボナッチ数列の不思議 素数の不思議	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
5 /	142857の謎 (巡回数) パンデigital 世界最古の魔方陣の不思議 いろいろな魔方陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
6 /	かけ算ピラミッドの謎 立体図形の不思議 プラトン立体・サッカーボールの謎	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
7 /	平面図形の不思議 消えた1cm ³ タングラム	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
8 /	カプレカ数 一筆書きの不思議 ケーニヒスベルクの橋 オイラーの定理	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
9 /	12345679の謎 移動の不思議 究極のパズル (ハノイの塔) カエルの飛び越し	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
10 /	パラドックスの不思議 アキレスと亀 数と比の不思議 黄金比・白銀比	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
11 /	÷99の謎 3の不思議 リンゴ取りゲームの謎 小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
12 /	測定の不思議 (古代の測定) ピタゴラスの定理 エラトステネスの発見 (地球を測定)	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
13 /	塵劫記を解く 依杉算・カラス算・盗人算・入れ子算	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
14 /	塵劫記を解く 覆面算・盗人隠・小町算・円陣	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
15 /	まとめ 数の不思議を振り返る、小テスト	久米	講義と演習	講義内容をまとめる 出された課題に取り組む	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
データ分析入門	小山内幸治（専 任）	2年次	後期	2	講義	選択	実務経験
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・データ分析に必要な統計の基礎が理解できる。 ・EXCELを使って、実務データの分析ができる。							
授業の内容 データ処理に必要な統計の基礎を学び、さらにEXCELを用いて、実務データの分析を行うための手法を身につけることができる。							
教科書	『やさしく学ぶデータ分析に必要な統計の教科書』 羽山博（インプレス） 価格（本体1,760円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	実際のデータ処理にはEXCELを使います。この授業を受けるためには、EXCELの基礎知識を持っていることが必要です。また、ある程度算数の能力も必要となります。 この授業で取り扱った内容を理解すれば、実際のビジネス上のデータを分析することが可能になります。興味のある方は履修してください。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎時間課題が提出されます。課題は、次の時間の最初に解答します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業参加度・取り組みの態度				
	授業内試験						
	定期試験	70	コンピュータを用いたデータ分析の問題				
	レポート						
	その他	20	授業内課題				
自由記載							
オフィスアワー	小山内研究室 金曜日を除く昼休み 12時20分～12時45分 および授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	osanai@sumire.ac.jp（小山内）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス・データ分析の目的・データの形式	小山内	講義	データの形式を復習し、入力方法を理解しておく	60
2 /	度数分布・ヒストグラム	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
3 /	平均値・中央値	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
4 /	標準偏差・分散	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
5 /	順位・偏差値・ABC分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
6 /	相関関係・回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
7 /	重回帰分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
8 /	時系列分析	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
9 /	平均の差の検定・分散の差の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
10 /	独立性の検定・相関の検定・回帰の検定	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	次回までに翻字の内容を理解し、実際に統計処理ができるようにしておく	90
11 /	実務データ分析Ⅰ (平均の差の検定・分散の差の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
12 /	実務データ分析Ⅱ (相関の検定・回帰の検定)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
13 /	実務データ分析Ⅲ (回帰分析・重回帰分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
14 /	実務データ分析Ⅳ (時系列分析)	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	ネット上に同じ手法で分析できる実務データはないかを考え、自分で分析してみる	90
15 /	まとめと試験対策	小山内	講義とコンピュータを用いた演習	これまでの内容を復習する	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語 I (製菓・製パン)	萩澤 大輝(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
English I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・基礎的な英単語・英文法を理解できる。 ・英語の「読む・書く・聴く・話す」力を向上させる。 ・英語で自己表現することができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。							
教科書	『Science for Fun!』 服部圭子, 山下弥生, 長谷川由美, Robert Perkins (金星堂) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	授業中に指示する						
担当者からのメッセージ	授業の妨げになる私語は厳に慎むこと。 毎回使用するため必ず辞書を持参すること(電子辞書も可)。 授業態度については、授業内の課題や議論に積極的に取り組んでいるかを評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、答案によく見られた誤りについて解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業態度				
	授業内試験						
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	hagisawa_daiki@yahoo.co.jp (萩澤)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	UNIT 1 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
2 /	UNIT 1 のまとめ 助動詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
3 /	UNIT 2 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
4 /	UNIT 2 のまとめ 受動態	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
5 /	UNIT 3 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
6 /	UNIT 3 のまとめ 進行形	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
7 /	UNIT 4 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
8 /	UNIT 4 のまとめ 間接疑問文	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
9 /	UNIT 5 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
10 /	UNIT 5 のまとめ 分詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
11 /	UNIT 6 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
12 /	UNIT 6 のまとめ 接続詞のthat	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
13 /	UNIT 7 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
14 /	UNIT 7 のまとめ 不定詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
15 /	UNIT 8 の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
英語Ⅱ (製菓・製パン)	萩澤 大輝(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
English II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・応用的な英語力を養うことができる。 ・英会話を日常生活で使うことができる。 ・英語で自分の意志と感情を伝えることができる。							
授業の内容 この授業では、 1. 身近な科学にまつわる文章を題材に、基礎的な語彙・文法を習得し、読む・書く力を涵養する。 2. 関連する実用的な表現を学び、聴く・話す力を涵養する。							
教科書	『Science for Fun!』 服部圭子, 山下弥生, 長谷川由美, Robert Perkins (金星堂) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	授業中に指示する						
担当者からのメッセージ	授業の妨げになる私語は厳に慎むこと。 毎回使用するため必ず辞書を持参すること(電子辞書も可)。 授業態度については、授業内の課題や議論に積極的に取り組んでいるかを評価する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、答案によく見られた誤りについて解説する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業態度				
	授業内試験						
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	hagisawa_daiki@yahoo.co.jp (萩澤)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	UNIT8 使役動詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
2 /	UNIT9の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
3 /	UNIT9のまとめ 現在完了	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
4 /	UNIT10の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
5 /	UNIT10のまとめ 比較級	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
6 /	UNIT11の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
7 /	UNIT11のまとめ 前置詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
8 /	UNIT12の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
9 /	UNIT12のまとめ 動名詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
10 /	UNIT13の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
11 /	UNIT13のまとめ 接続詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
12 /	UNIT14の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
13 /	UNIT14のまとめ 形容詞・副詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
14 /	UNIT15の演習	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
15 /	UNIT15のまとめ 関係代名詞	萩澤	講義・演習	学習事項を復習する	30
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語 I (製菓・製パン)	柴田 秀樹(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	
							実務経験
French I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を理解することができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、基礎的な文法の学習と会話練習を中軸とし、折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	8回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	アルファベット 発音の規則 あいざつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
2 /	身近なフランス語単語 0から10の数字	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
3 /	名詞の性	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
4 /	-er動詞の活用と主語人称代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
5 /	-er動詞の活用と否定形	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
6 /	etreの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
7 /	冠詞、etreを用いた自己紹介	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習 小テスト	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
9 /	avoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
10 /	avoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
11 /	aller、venir、faireの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
12 /	aller、venir、faireを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
13 /	形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする) 復習	60
14 /	形容詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発 声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
フランス語Ⅱ (製菓・製パン)	柴田 秀樹(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	
							実務経験
French II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・フランス語の基礎文法を身につけることができる。 ・フランス語での簡単な会話ができるようになる。							
授業の内容 フランス語はファッションや料理、映画やアートなど、さまざまな分野で用いられている。 フランス語を学ぶことは、こうした分野への関心や理解を深め、世界を広げることにつながるだろう。この授業では、初級で学んだ文法事項を基盤として、より実践的な文法の学習と会話練習を行う。折に触れてフランス語に関係する分野に言及する。							
教科書	なし						
参考書	『Qu'est-ce que c'est?』伊勢晃ほか著（白水社） 価格（本体2,300円+税）						
担当者からのメッセージ	学期半ばの小テストと、期末の定期試験の成績に、受講態度を加味して成績評価を行う。文法の学習と会話練習を平行して行うため、静粛かつ積極的に受講する態度を評価する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	学期半ばの小テストについては、テスト翌週の授業で総括と復習を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度（30点満点）で評価する				
	授業内試験	20	8回目の授業で小テスト（筆記試験）を行い、20点満点で評価する				
	定期試験	50	理解度確認のための筆記試験を行い、50点満点で評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shibatahideki1987@gmail.com（柴田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	（共通DP）教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	初級の復習 あいさつ	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
2 /	faireの活用、12ヶ月の呼び方、序数	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
3 /	疑問文の作り方	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
4 /	命令法	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
5 /	vouloir、pouvoir、devoirの活用	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
6 /	vouloir、pouvoir、devoirを用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
7 /	所有形容詞、指示形容詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
8 /	復習と小テスト	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
9 /	複合過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
10 /	複合過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
11 /	近接未来と近接過去	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
12 /	近接未来と近接過去を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
13 /	代名詞	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
14 /	代名詞を用いた表現	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
15 /	復習と練習問題	柴田	演習	復習(テキストを読み返し発声練習をする)	60
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語 I (製菓・製パン)	李 景芳(非常勤)	2年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese I							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 発音はことばの基礎です。この授業ではテキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に授業を進める。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深める。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	中国語について	李	講義	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	発音、声調、発音符号の練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第一課 本文説明 「こんにちは！」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第二課 本文説明 「これは何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第三課 本文説明 「どこへ行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第四課 本文説明 「いくつほしいですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第四課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第五課 本文説明 「何曜日、アルバイトに行きますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第五課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第六課 本文説明 「今日の授業は終わりましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第六課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめとテスト	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
中国語Ⅱ (製菓・製パン)	李 景芳(非常勤)	2年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
Chinese II							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・中国語の基礎となる発音、文の仕組みを理解する。 ・簡単な中国語会話が出来る。 ・同時に、異文化への関心、理解も深める。							
授業の内容 中国語Ⅰの履修者を対象に、テキストを中心に中国の共通語である「普通話」の発音、声調、発音符号を中心に基礎的な練習を重ねながら、基本文型、文法を学び、中国人とやさしい日常会話ができることを目標に学習を発展させていく。また副読本も併用して、ことばを理解する背景としての“異文化”への理解を深める。中国映画から学ぶ授業も計画している。							
教科書	『実学実用 初級中国語 ライト版』 陳 淑梅・劉 光赤著（朝日出版社） 価格（本体2,300円＋税） 『日本人の不信感 中国人の本心』 李 景芳著（さくら舎） 価格（本体1,400円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	授業中の私語、ゲーム、スマホ・携帯の使用は厳に慎んでください。 受講態度は、取り組みの積極性を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中にその場でチェックし、学生へ伝える。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	80	授業内容の理解度の確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	会話練習の積極性				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	第七課 本文説明 「ご飯を食べましたか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
2 /	第七課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
3 /	第八課 本文説明 「富士山に登ったことがありますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
4 /	第八課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
5 /	第九課 本文説明 「何をしていますか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
6 /	第九課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
7 /	第十課 本文説明 「趣味は何ですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
8 /	第十課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
9 /	第十一課 本文説明 「この靴はどうですか」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
10 /	第十一課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
11 /	第十二課 本文説明 「お誕生日おめでとう」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
12 /	第十二課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
13 /	第十三課 本文説明 「映画、もうすぐ始まります」	李	講義と理解度チェック	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
14 /	第十三課 練習	李	講義と反復練習	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
15 /	まとめ	李	学習の総括とテスト	学んだ単語や会話の表現を毎日音読する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (製菓・製パン)	山村 聡(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	
							実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康を維持、増進するために必要な知識を習得する。 ・生涯を健康に過ごすために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康とは何かを知り、維持・増進に必要な運動、栄養、休養についての正しい知識を得て実践する力を身につける。 自分自身の実際の生活習慣や現代の生活環境も振り返り、将来的な健康のために必要な取り組みとその実践方法について考察し、実行する力を養う。 資料の配付やディスカッションを通じて授業を展開し、レポートの作成も評価対象とする。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	インターネットや新聞、テレビなど媒体は問わないので健康についての情報を積極的に得ておくこと。 自分自身の生活習慣も振り返り、授業内で発表できるようにしておくこと。 評価は積極的に参加する態度とレポート、授業内でのテストを対象に行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業内で説明する。 作成したレポートは採点后、本人に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 健康の定義と現代社会	山村	講義	シラバスの内容を事前に確認しておく	30
2 /	身体の仕組みと働き	山村	講義	健康について興味のある事柄を3つ挙げて調べておく	60
3 /	運動と健康 1 生活における運動	山村	講義	身近に行われている運動について調べておく	60
4 /	運動と健康 2 生活の中のスポーツ	山村	講義	身の周りにあるスポーツが行える環境について考える	60
5 /	食事と健康 1 健康的な栄養摂取	山村	講義	自分の1週間の食生活を記録しておく	60
6 /	食事と健康 2 ダイエット	山村	講義	実践経験のあるダイエット法、聞いたことのあるダイエット法についてまとめる	60
7 /	睡眠と健康 適切な休養のとり方	山村	講義	自分の1日の活動、生活習慣についてまとめ、問題点について考える	60
8 /	授業のまとめ	山村	講義	学習内容を整理し実践する方法を考える	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
健康スポーツ論 (幼教)	山下 伸一(非常勤)	2年次	後期	1	講義	選択	実務経験
Child-care Subject Health							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の必修、幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・健康に関わるものとして食事・睡眠・運動についての知識を習得する。 ・健康な生涯を送るために必要な知識を実践する能力を身につける。							
授業の内容 健康に関する今日的な課題を紹介し、正しい知識を得るとともに、それを実践する態度を身につける。本授業では、身体の仕組みや働き、健康を維持・増進するための食事(栄養)・睡眠(休養)・運動(身体活動)について理解を深めるとともに、自分の生活の中に取り入れる習慣を身につける方法を考える。 毎時配付するプリントを中心に、対話形式で授業を展開し、課題の作成も評価の対象とする。							
教科書	なし						
参考書	授業内容に応じて授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	日頃から健康に関心を持ち積極的に知識の習得に努めること。(新聞やニュース、インターネットを活用した予習)授業で使用するプリントは自分でファイリングして必要なことは書き込むようにする。学期中に2回の課題(レポート)提出を求め、それは成績評価に含まれるものとする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	レポートの作成方法は授業の中で解説する。 作成したレポートについては、授業内で活用する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート	30	授業内容の確認のため実施				
	その他	20	授業中の発表や提出物を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける それ以外は、火～金曜日の16時～19時まで体育館にて質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	ガイダンス 身体の仕組みと働き	山下	講義	事前に健康に関する話題を探しておく	60
2 /	食事と健康 1 栄養のバランス	山下	講義	自分の食生活を記録し、問題を考える	60
3 /	食事と健康 2 ダイエット	山下	講義 課題作成	1週間の自分の食事内容をまとめる	60
4 /	睡眠と健康 質の良い睡眠とは	山下	講義	自分の生活習慣を見直し規則正しい生活を考える	30
5 /	運動と健康 1 生活活動と運動	山下	講義	積極的な運動習慣(歩行・ジョギング)に取り組む	60
6 /	運動と健康 2 スポーツの実践	山下	講義 課題作成	運動習慣の継続と健康への関心を高める	90
7 /	健康日本21 将来の健康を考えて	山下	講義	最終試験に向けて授業内容の確認に取り組む	90
8 /	授業のまとめ	山下	講義 最終試験	学習内容を整理し、実生活に取り入れる	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(テニス)	山中 博史(専 任)	2年次	前・後期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Tennis)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・テニスの基本的なルールを理解する。 ・テニスの基本的な技術を習得する。 ・テニスの基本的な戦術を理解する。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要である。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想される。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なこころからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践していく。</p> <p>スポーツ実技A（テニス）では、基本的な技術練習を進めながら、最終的にはダブルスのゲームを楽しめるよう学習を進める。雨天時は体育館で授業を行うが、体育館の使用状況や人数的な条件から、テニス以外の種目となる場合もある。</p> <p>ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行う。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わりの。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは種目にふさわしいものを着用し、胸部に名前を書いたゼッケンをつけること。受講態度は、積極的に参加し、テニスを楽しんでいるかで評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行う。 技術の課題は、サーブを10本中5本以上成功させること、二人でラリーが7本続くこととする。最終日に実技試験を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	60	サーブとグラウンドストロークの実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp (山中)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係種目履修上の注意 種目の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	用具・コートの説明 ラケットとボールに慣れる ラケットの握り方	山中	実技	実技内容の振り返り	90
3 /	フォアハンドストローク 1本打ち (ペアで交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
4 /	フォアハンドストローク 投げられたボールをフォアハンドで打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
5 /	フォアハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
6 /	バックハンドストローク 1本打ち (ペアで交互に)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
7 /	バックハンドストローク 投げられたボールをバックハンドで打ち返す	山中	実技	実技内容の振り返り	90
8 /	バックハンドストローク ペアで打ち合う	山中	実技	実技内容の振り返り	90
9 /	サーブ オーバーヘッドのサーブ練習	山中	実技	実技内容の振り返り	90
10 /	サーブとレシーブ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
11 /	ボレー (フォアハンド・バックハンド)	山中	実技	実技内容の振り返り	90
12 /	シングルの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
13 /	ダブルスの簡易ゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
14 /	ダブルスのゲームを楽しむ	山中	実技	実技内容の振り返り	90
15 /	実技試験 ・サーブ (10本中5本以上) ・グランドストロークの連続 (ペアで7回)	山中	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(フィットネス)	北尾 岳夫(専 任)	2年次	前・後期	1	実技	選択	○
							実務経験
Practical Skills in Sports (Fitness)							
資格等取得との関連		栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズについて理解する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズの実践力を獲得する。 健康維持に重要な役割を果たす、3つのエクササイズを日常生活のなかに取り込む態度を身につける。 							
授業の内容 <p>社会に出る直前である大学生期に、様々なスポーツに親しみ体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは、生涯を健康な身体で過ごすために重要である。また、様々なアクティビティを通じてコミュニケーション能力を涵養することは、より豊かな生活を送ることにもつながる。このような観点からスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところから”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実施する。</p> <p>フィットネスは16名の上限人数を設ける。受講希望者が上限人数を超えた場合は、抽選で受講者を決定する。</p> <p>健康維持のキーワードは、体組成・心肺機能・筋力・柔軟性である。フィットネスの授業ではこれらの要素に注目し、理論的な学習も含めた実践を行う。具体的には、ストレッチング(柔軟性)・エアロビック(有酸素)・ストレングス(筋力)の3つのエクササイズを取り上げ、それぞれについての理解と実践力の獲得を目指す。理論的な講義も交えながら、Nordic Walkingや自重を利用した体幹トレーニング、またバランスボールなども利用して“からだへの気付き”をテーマに授業を行う。</p>							
教科書	なし						
参考書	『ストレッチ100の基本』 横山格郎・星川精豪 監修 (柘出版社) 『ノルディックウォーキング Starting book』 伊藤義昭 監修 (スキージャーナル) 『自身体幹トレ100の基本』 比嘉一雄 監修 (柘出版社)						
担当者からのメッセージ	受講時の服装・シューズは、担当者の指示にしたがうこと。 授業実施内容に応じて、ウォーキングに適したスニーカーや体育館用シューズが必要です。 受講態度の観点として、授業への積極的参加度を設ける。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回、授業開始時に体組成(体重と体脂肪率)を測定・記録するとともに、その日の授業内容や自分のからだへの気付きなどの内容を含めた記録カードの提出を課す。この記録カードは、担当者がコメントし次回授業開始時に返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業に対する積極的な姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	毎回提出する個人記録への記入状況				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 12時15分～12時45分 ※木曜日は12時40分～13時10分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	授業の全体を把握する	北尾	講義	授業内容全体の理解	90
2 /	体組成計のセット 体力測定(握力・閉眼片足立ち・上体起こし)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
3 /	ストレッチングEx.の基礎知識 体力測定(立位体前屈・立ち幅跳び・反復横跳び)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
4 /	エアロビックEx.の基礎知識 ベーシックストレッチング 体力測定(踏み台昇降)	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
5 /	Nordic Walking (2.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
6 /	Nordic Walking (3.7km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
7 /	Nordic Walking (4.0km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
8 /	Nordic Walking (4.8km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
9 /	Nordic Walking (5.4km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
10 /	Nordic Walking (6.2km)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
11 /	ストレンクスEx.の基礎知識 自重ストレンクスEx.	北尾	講義 実技	実技内容の理解と振り返り	90
12 /	股関節ゆるゆるストレッチング バランスボールEx.	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
13 /	自重ストレンクスEx.(体幹)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
14 /	自重ストレンクスEx.(上肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り	90
15 /	自重ストレンクスEx.(下肢)	北尾	実技	実技内容の理解と振り返り 授業全体の振り返り	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
スポーツ実技(バレー)	山村 聡(非常勤)	2年次	前・後期	1	実技	選択	○
							実務経験
							○
Practical Skills in Sports (Volleyball)							
資格等取得との関連	栄養教諭二種免許の選択、幼稚園教諭二種免許の選択、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・バレーボールの基本的なルールを理解する。 ・バレーボールの基本的な技術を習得する。 ・バレーボールの基本的な戦術を理解する。 ・スポーツを通じて周囲の人とのコミュニケーションができる。							
授業の内容 本学バレーボール部の他、大学や実業団バレーボールチームで10年以上トレーナーを務め、平成31年度よりスポーツ実技(バレー)を担当している教員が指導する。 社会に出る直前である大学生期に様々なスポーツ活動に親しみ、体力を維持するとともに運動習慣を獲得しておくことは重要です。また、様々なアクティビティを通じて人と人とのつながりに気付きコミュニケーション能力を涵養することは、その後の生涯にわたる心身の健康に大きな影響を及ぼすことが予想されます。本学ではこの点を重視してスポーツ実技を必修科目として位置付け、様々なスポーツやアクティビティを通じた“健康なところからだ”への気付きと実践力の獲得をテーマに授業を実践しています。 この授業では、未経験者でもラリーが続きやすい軽量のローインパクトボールを使用し、基本技術練習、戦術的なプレーの練習、そして技術レベルに応じたゲームを楽しみながら学習します。6人制バレーボールだけにとどまらず、生涯スポーツとして盛んに取り組まれているソフトバレーボールも取り上げます。 ウォーミングアップやクーリングダウンとして、ストレッチや簡単な筋力トレーニングも行います。コートでの準備や片付けなどにも、積極的に関わります。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	経験の有無にかかわらず、積極的な参加態度、準備や後片付けへの協力姿勢、個人のスキル向上への努力度、スポーツを通じたコミュニケーションスキル等の総合評価で成績がつきます。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	技術的なフィードバックは、毎回の授業の中で必要に応じて行います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	練習や試合での取り組み、準備や後片付けに積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	50	実技試験				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に体育館で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 体育関係履修上の注意点の説明 種目の説明	山村	講義	実施要項の理解	90
2 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
3 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
4 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
5 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・サーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
6 /	ソフトバレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
7 /	ソフトバレーボールゲーム ・ブロックなしルールでの実践	山村	実技	実技内容振り返り	90
8 /	ソフトバレーボールゲーム ・ブロック有りルールでの実践	山村	実技	実技内容振り返り	90
9 /	バレーボール基礎技術 ・オーバーハンドパス ・アンダーハンドパス	山村	実技	実技内容振り返り	90
10 /	バレーボール基礎技術 ・サーブ ・レシーブ	山村	実技	実技内容振り返り	90
11 /	バレーボール基礎技術 ・スパイク	山村	実技	実技内容振り返り	90
12 /	バレーボール基礎技術 ・三段攻撃	山村	実技	実技内容振り返り	90
13 /	バレーボールゲーム ・ポジション固定	山村	実技	実技内容振り返り	90
14 /	バレーボールゲーム ・ローテーション制	山村	実技	実技内容振り返り	90
15 /	ふりかえり 実技試験	山村	実技試験	実技の習得	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (食健康)	清水まゆみ(専任) 他	2年次	後期	1	演習	食健康/必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えることができる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んださまざまな知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」は、それをもとにさらに実際的なライフプランニングを考える機会とする。最終回はまとめとし、課題をグループで討議し、解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。 毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp (清水)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリア・レビュー 漢字テスト(1) 1年間を振り返りながら、2回生になった自分自身を見つめなおす	清水 他	自らのキャリア形成を見据えた演習 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	通信のマナー 漢字テスト(2)	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー 漢字テスト(3)	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	給与明細と労務管理 漢字テスト(4)	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	生活設計とリスク管理	清水 外部講師	講義	配付資料を読み返す	60
6 /	新聞を読みこなそう1 漢字テスト(5) 新聞の見方を知ろう	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう2 漢字テスト(6) 新聞の読み比べをしてみよう	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	清水 他	グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (製菓・製パン)	清水まゆみ(専任) 他	2年次	後期	1	演習	製菓・製パン/必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えることができる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んださまざまな知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」は、それをもとにさらに実際的なライフプランニングを考える機会とする。最終回はまとめとし、課題をグループで討議し、解決する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。 毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	各クラス担当者が翌週までにコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業中、課題に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの完成度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、掲示板により周知する						
担当教員E-mail	m-shimizu@sumire.ac.jp (清水)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリア・レビュー 漢字テスト(1) 1年間を振り返りながら、2回生になった自分自身を見つめなおす	清水 他	自らのキャリア形成を見据えた演習 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
2 /	通信のマナー 漢字テスト(2)	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー 漢字テスト(3)	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
4 /	給与明細と労務管理 漢字テスト(4)	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
5 /	生活設計とリスク管理	清水 外部講師	講義	配付資料を読み返す	60
6 /	新聞を読みこなそう1 漢字テスト(5) 新聞の見方を知ろう	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
7 /	新聞を読みこなそう2 漢字テスト(6) 新聞の読み比べをしてみよう	清水 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	清水 他	グループワーク	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (幼教)	柚木たまみ(専任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えることができる。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得することが目的ではなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実際的なライフプランニングを考える情報や機会を提供する。 また、学習テーマに沿った内容をグループで討論する時間を設ける。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫してほしい。受講態度は、「マイキャリアファイル」の充実度を目安とする。 したがって、毎回提供された資料・ノートを「マイキャリアファイル」に、わかりやすく整理しておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	「マイキャリアファイル」については毎回感想を記入しクラス担当教員に提出する。感想に対して担当教員がコメントや検印を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業の中で課題への積極的、意欲的取り組み等、受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの充実度を評価する				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	キャリアレビュー	柚木 他	自らのキャリア形成を見据えた演習	配付資料を読み返す	30
2 /	通信(手紙・メール・ファックス)のマナー	柚木 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
3 /	冠婚葬祭のマナー	柚木 他	導入講義 個人ワーク グループ討論	配付資料を読み返す	30
4 /	働くときの権利—社会人デビューを前に	柚木 他	導入講義 個人ワーク グループ討論	配付資料を読み返す	30
5 /	新聞を読みこなそう(1) 新聞の構成を知る	柚木 他	導入講義 個人ワーク	配付資料を読み返す	30
6 /	生活とリスク管理	柚木 他 外部講師	講義	配付資料を読み返す	60
7 /	新聞を読みこなそう(2) 社説などを読みこなす	柚木 他	導入講義 個人ワーク グループ討論	配付資料を読み返す	30
8 /	授業のまとめ	柚木 他	試験	これまでの配付資料に目を通しておく	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (ビジ前半)	江見 和明(専任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えられる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識を修得する。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実的なライフプランニングを考える情報や機会を提供する。授業では、グループディスカッションなどを行い、自ら考えることを重視する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、1年次開講の「キャリア基礎演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	マイキャリアファイルに、その日の授業のふりかえりを記入する。ゼミ担当教員がふりかえりの内容にコメントをし、翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの記入内容				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。 (ビDP1) 【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2) 【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3) 【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4) 【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	キャリアレビュー	中村	演習	マイキャリアファイルの作成	90
2 /	国語力の強化	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	数的思考力の強化	小山内	演習	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	論理的思考力の強化	伊澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	生活設計とリスク管理	江見 外部講師	演習	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	給与明細と労務管理	山中	演習	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	コミュニケーション力を高める	沖山	演習	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	まとめとふりかえり	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
キャリアデザイン演習 (ビジ後半)	江見 和明(専任) 他	2年次	後期	1	演習	必修	○
							実務経験
Practice of Career Planning							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・就職活動を「内定獲得」ではなく、自身の一生を形作る課題として考えられるようになる。 ・「キャリア基礎演習」で身につけたことをもとに、職業選択・就労形態など、自身のライフプランニングを考えられる。 ・社会人としての基礎的な知識を身につけ、一般常識を修得する。							
授業の内容 本学の「実学教育」は、単に多種多様の免許・資格を取得するだけでなく、社会人として必要な知識・技能・コミュニケーション能力などを身につけ、生涯にわたる生活を豊かなものとする将来設計を築くことができるような基礎教育である。1年次の「キャリア基礎演習」で学んだ、様々な知識が社会では必要であることを受けて、2年次の「キャリアデザイン演習」では、それをもとにさらに実的なライフプランニングを考える情報や機会を提供する。授業では、グループディスカッションなどを行い、自ら考えることを重視する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	1年次に配付した「マイキャリアファイル」を引き続き利用する。 授業当初から作成していく「マイキャリアファイル」を利用して、学習成果を確認し、自分自身の変化を見つめていけるよう工夫する。 積極的に自分自身で学習していく努力を大いに評価する。 毎回の内容を必ず「マイキャリアファイル」としてまとめ、1年次開講の「キャリア基礎演習」とあわせて2年間にわたる記録とする。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	マイキャリアファイルに、その日の授業のふりかえりを記入する。ゼミ担当教員がふりかえりの内容にコメントをし、翌週返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	授業への参加姿勢				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	50	マイキャリアファイルの記入内容				
自由記載							
オフィスアワー	1回目の授業で一覧表を配付するとともに、教務課の掲示板により周知する						
担当教員E-mail	k-emi@sumire.ac.jp (江見) r-izawa@sumire.ac.jp (伊澤)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(共通DP) 教養教育を身につける。 (ビDP1) 【知識・理解】 社会におけるマナーを理解し実践できる。 (ビDP2) 【技能】 相手の話をよく聴き、自らの意見を表現するためのスキルを身につけている。 (ビDP3) 【思考・判断・表現】 問題点を発見し、自ら考え、解決に向けて積極的に行動できる。 (ビDP4) 【態度・志向性】 誠実な態度で責任感をもって行動できる。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	キャリアレビュー	江見	演習	マイキャリアファイルの作成	90
2 /	国語力の強化	伊澤	演習	マイキャリアファイルの作成	90
3 /	数的思考力の強化	沖山	演習	マイキャリアファイルの作成	90
4 /	論理的思考力の強化	堀池	演習	マイキャリアファイルの作成	90
5 /	生活設計とリスク管理	江見 外部講師	演習	マイキャリアファイルの作成	90
6 /	給与明細と労務管理	中村	演習	マイキャリアファイルの作成	90
7 /	コミュニケーション力を高める	江見	演習	マイキャリアファイルの作成	90
8 /	まとめとふりかえり	若生	演習	マイキャリアファイルの作成	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					